

3月定例会で一般質問

高架案内定名神湾岸連絡線

環境への配慮と市民の理解が不可欠



西宮市議会議員

かんの雅一まさかず

私は3月1日、西宮市議会3月定例会で一般質問をしました。テーマは①名神湾岸連絡線について②民生委員・児童委員のなり手不足について③認知症高齢者等の徘徊対策について④障害者差別の解消に向けた取り組みについて⑤道路の陥没対策についてーの5項目。今村岳司市長ら市幹部が答弁しました。名神湾岸連絡線は、名神高速道路西宮インターチェンジ付近と阪神高速湾岸線西宮浜ランプ付近の間約3キロで計画されている自動車専用道路です。国土交通省近畿地方整備局は1月23日、国交省の諮問機関である社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会を開催。連絡線についての計画段階評価の結果として、高架構造の道路に対する高架案の採用と大まかな

質問をしました。①名神湾岸連絡線について②民生委員・児童委員のなり手不足について③認知症高齢者等の徘徊対策について④障害者差別の解消に向けた取り組みについて⑤道路の陥没対策についてーの5項目。今村岳司市長ら市幹部が答弁しました。名神湾岸連絡線は、名神高速道路西宮インターチェンジ付近と阪神高速湾岸線西宮浜ランプ付近の間約3キロで計画されている自動車専用道路です。国土交通省近畿地方整備局は1月23日、国交省の諮問機関である社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会を開催。連絡線についての計画段階評価の結果として、高架構造の道路に対する高架案の採用と大まかな

変更や行政需要の高まりなどで職員の増員が必要な部署については市の業務全体を見直し、不要不急の事業を廃止したうえ、職員の適正配置によって対応すべきだと私は考えます。

私は3月8日の総務常任委員会で「危機的な本市の財政状況をさらに悪化させる大きな要因になりかねない」と反対理由を述べました。「厳しい生活の中で税金を納めている市民の思いに逆行している」と強調しました。本市の納稅義務者約22万人が納めた個人市民税は平成27年度決算で1人あたり平均年間約17万円。私は「税金は市民の皆さんのが家族のため、大切な人のために必死になつて働いて得た中から納めていただいたお金。抜本的な業務改革をすれば、職員定数を増やす試みに賛同するわけにはいかない」と述べました。

私は「今回の条例を認めれば、職員労組との馴れ合いを廃して、効率的で公正な住民目線の市役所運営を実現」するとした今村岳司市長の選挙公約に違反することを指摘したうえで、「市政に対する市民の信頼を喪失される恐れがある」と強調。「公務員労組との馴れ合いを廃して、効率的で公正な住民目線の市役所運営を実現」するることはできない」と述べました。私は「会派・ぜんしん」の仲間とともに、効率的な行政運営の実現を市当局に追っています。

西宮市政報告

かんの新聞 第8号 年4回発行

ジャーナリストの視点で
調べる・伝える

元産経新聞記者 上智大学卒
人の痛みがわかる59歳



想定区間としてのルート帯を盛り込んだ対応方針案を示し、了承されました。国交省は詳細ルートと具体的な構造を決めたうえ、都市計画決定や環境影響評価などを経て事業化する段取りです。国交省は湾岸線を神戸市長田区まで伸ばす西伸事業の進捗を見ながら、連絡事業を進めたいとしています。国交省は対応方針案の中で、高架案について「騒音・振動・大気・景観への影響が懸念される」と正式に認め、立ち退きの対象となる「影響する家屋・施設について「約90棟」という具体的な数字を明らかにしました。私が関係者の話を総合して想定するルートとしては、名神高速から一般道路の今津東線上に高架道路を設置。今津港の東側の高層住宅群への騒音・振動などの影響を抑え、今津港に新設される新川水門を避けるため、今津港の西側付近を通り、海上に橋を架けて西宮浜に上陸し、湾岸線に

接続するとみられます。基本構造の主な検討ポイントは①片側1車線の計2車線にするか、片側2車線の計4車線にするか、東西両方向の車線に接続する片側ジャンクションにするかーの2点があり、規模が大きくなればなるほど、環境などの影響が大きいとみられます。

約10年後とみられる湾岸線の西伸事業の完了までに連絡線が完成していなければ、名神高速と結ぶ一般道路における大型車両の通行量が急増し、市内の環境が悪化すると想定されます。

このため、私は連絡線の早期実現を求める市の方針に賛成したうえ、事業化は環境や景観への影響立ち退きの範囲を最小限にし、市民の理解を得ることが不可欠と強調しました。これに対し、市当局は「高速道路としての必要な機能に配慮しつつ、地域の環境・景観への影響や用地買収・移転補償等の対象ができるだけ少ない構造となるよう国に求めていく」と答弁しました。

西宮市議会は3月定例会は3月23日、職員定数を54人増やして3946人にする条例改正を賛成多数で可決しました。私が所属する「会派・ぜんしん」は反対しました。市は職員定数を増やす理由について①新たな事業の増大②保育所入所希望者や福祉サービス受給希望者、生活保護受給者などの増加③行政需要の増大④定年退職後の市のフルタイム勤務再任用職員の急増ーなどを挙げました。増員が必要と予想される事業については①子ども・子育て支援新制度にかかる事務事業②こども未来センター関係事業③福祉施策の事務事業④公共施設・学校施設の整備事業ーなどと共施設・学校施設の整備事業ーなどとされています。

職員定数については平成28年12月定例会で市消防局の職員定数を96人増やす条例改正を可決したばかり。制度

西宮市役所



■西宮市役所

市民の思いに逆行

私は「今回の条例を認めれば、職員労組との馴れ合いを廃して、効率的で公正な住民目線の市役所運営を実現」するとした今村岳司市長の選挙公約に違反することを指摘したうえで、「市政に対する市民の信頼を喪失されることはできない」と述べました。私は「会派・ぜんしん」の仲間とともに、効率的な行政運営の実現を市当局に追っています。

私は3月8日の総務常任委員会で「危機的な本市の財政状況をさらに悪化させる大きな要因になりかねない」と反対理由を述べました。「厳しい生活の中で税金を納めている市民の思いに逆行している」と強調しました。市民の皆さんのが家族のため、大切な人のために必死になつて働いて得た中から納めていたお金。抜本的な業務改革をせずに、職員定数を増やす試みに賛同するわけにはいかない」と述べました。

私は「会派・ぜんしん」の仲間とともに、効率的な行政運営の実現を市当局に追っています。

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●生年月日●ご連絡先電話番号●メールアドレス
はがき宛先 〒663-8153西宮市南甲子園3-4-51-101 FAX・メールでのお申し込みは本紙最下段に記載の宛先まで

定期送付のご案内

お待ちしています!!

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材したうえ、わかりやすく説明します。

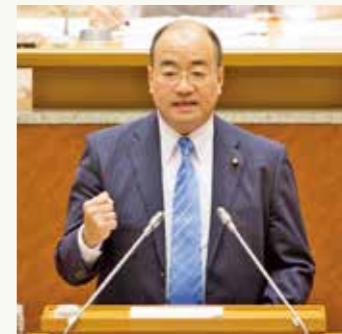
地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



言葉の解説

予算特別委員会とは?

西宮市議会は、当初予算案を審査するために毎年3月定例会で、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置します。慣例により、予算特別委員長は副議長が、副委員長は常任委員長が務めます。予算特別委は常任委員会単位の5分科会(総務、民生、健康福祉、教育こども、建設)で予算案を審査。その後、予算案は予算特別委の全体会での審査を経て議会本会議で採決します。決算の認定も9月定例会の決算特別委員会で同様の手続きをとります。



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科を卒業。産経新聞社では姫路支局、岡山総局、社会部、政治部、経済部、夕刊フジ、総合企画室に勤務。政治家を志し平成27年1月に退社。同年4月の市議選で初当選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会副会長。NPO法人「海浜の自然環境を守る会」理事。防災士。

かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

〒663-8156 西宮市甲子園網引町5-7

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530《MAIL》info@kannomasakazu.com

次号は平成29年9月の発行予定です

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一

検索



イオン甲子園店が休業へ

子園球場にも近いという好立地を生かした収益性の高い商業施設に再生させる計画。施設全体の改装後、スーパーマーケットを中心とした専門店を入れて地域密着の商業施設にする見通しですが、具体的な内容は未定としています。

従業員についてはイオン甲子園店で約350人、専門店で約300人が働いています。イオン甲子園店のパート従業員は希望すれば、イオングループの近隣店舗に配置転換される見通し。一方、専門店の多くは移転先などのメドが立ってない状態で、失業する従業員が多数に上る恐れがあります。ハローワーク西宮はこの問題を深刻



かんの コラム

8

消防訓練施設が 人工島の甲子園浜に

この施設では、複数の消防車両の連携訓練や建物の内外を問わない放水訓練を実施できます。火災現場を擬似体験できる耐熱耐煙施設も設けるほか、倒壊家屋を想定したがれき救出訓練も可能です。市は消防局や消防団の訓練に加えて、消防協力隊や自衛消防隊の訓練、自主防災会の研修や訓練の活用も検討しています。



29年度当初予算案可決 過去最大規模

閉会しました。一般会計の総額は1766億円で前年度比1.1%増。特別・企業会計を合わせた予算総額は前年度比0.8%増の3180億円で、阪神・淡路大震災直後の平成7年度を除くと過去最大規模になりました。

市は「持続可能な文教住宅都市の実現」を掲げ、子育てや地域力向上、災害対応などの事業に重点的に配分。民間保育所等整備事業や保育士確保事業などを拡充しました。

従業員の雇用問題、駐輪場の 営業継続など課題山積

阪神甲子園駅前の大型商業施設「イオン甲子園店」(甲子園高潮町)が5月末に休業することになりました。今年2月末にこの施設と土地を事実上、買収した三菱地所が新たな商業施設として再生させることを目的に施設の一時閉館を決めたためです。

この施設は地上6階建て地下2階。店舗は地上3階から地下2階まで延べ約2万5800平方メートル。イオン甲子

園店を中心とした、約50の専門店が入居。約1000台収容の立体駐車場もあります。施設は平成5年、「ダイエーグループ」が「プランタン甲子園」として開業。7年に「ダイエー甲子園店」に変わりました。平成28年3月、同店の運営がダイエーからイオンリテールに移り、「イオン甲子園店」に変わりました。

施設と土地については東洋不動産や外資系ファンドなどが所有してきました。

に受け止め、情報収集を進めています。
イオン甲子園店の周辺などには自転車1474台収容などの一時利用の駐輪場があり、甲子園駅前に立地することから多くの市民が利用しています。

私は市に対して①ハローワーク西宮と連携して従業員の雇用不安について今力で対応する②西宮市内で事業の継続を希望する専門店に対しても空き店舗の情報を提供する一などを求めています。そのうえで、①改装期間中も一時利用の駐輪場の営業を継続する②再入居を希望する専門店との協議に誠実に応じ、③などを三菱地所に要望することを求

市でも条例制定を検討すべきだ」と訴えました。市は条例について「検討する」と弁し、条例化に向けて動き出しました。西宮市では障害福祉の施策について、「障害福祉推進計画」に位置づけて進めています。現在の計画が平成29年度でわるため、市は30年度から6年間の次回計画の策定に向けて有識者や関係団体で構成する障害福祉推進計画策定委員会を開催することにしています。

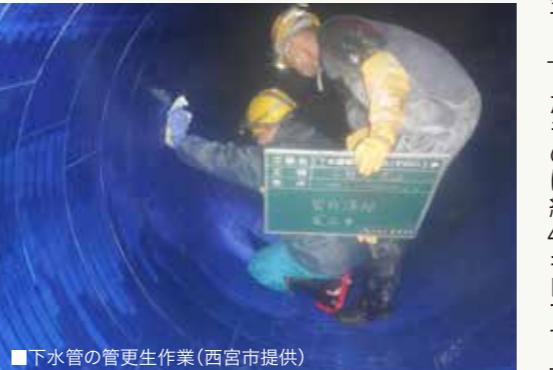
市は答弁で「条例制定を行う前に、害者差別解消法などの趣旨を普及、啓発することが必要」と指摘。「計画策定終了後は、条例と計画の関係をどのように定義するかなどの課題の整理や条例の内容などを含めて策定委員会で十分検討する」と明言しました。

私は「市として明確な方針が示された。評価したい」と述べたうえ、「条例の内容について幅広く意見を求め、完成した段階では市民が皆、『自分の意見が反映された』と思える内容にしていただきたい」と要望しました。ある障害者団体の代表は「前向きな回答だったので大変うれしい。どれだけ中身のある条例になるのかが大事だと思っていました」と話していました。

■下水管の管更生作業(西宮市提供)

西宮市の道路事情を心配する声が寄せられたことから、取り上げました。市は市内に地下鉄や地下街といった大規模な地下空間がないことから、市内の道路で福岡市のような巨大な陥没事故が発生する可能性はないとしています。

市は市内の道路で車両が転落するほどの陥没事故が発生する要因があるとすれば、老朽化した大きな下水管の破損に起因する可能性が高いとして対策を進めています。下水管の標準耐用年数は50年。市内には約1200キロの下水管があり、そのうち布設から50年を経過したもののは約40キロです。市は点検調査によつて改築が必要と判断した下水管について、内部を樹脂などで補強する管更生などの処理を施して再生や延命を図り、効果的な維持管理を進めてい



下水管の管更生作業(西宮市提供)

全市で声かけ 模擬訓練を

「認知症高齢者等の徘徊対 質問

■認知症徘徊者に扮するスタッフ(左)に声をかける参加者
「3月12日 東山台地区での模擬訓練」



深刻な状況の 早期解消を

早見角洋太

「認知症高齢者等の徘徊対策について」は、市民から「認知症高齢者の徘徊を見かけることが増えた」という話を聞くて取り上げました。私は一般質問で①徘徊行動を早期発見するための地域の目守り体制の充実②「協力事業者による高齢者見守り事業」の拡充③「認知症SOSメール配信事業」についての市民への周知④東山台地区で開催している認知症徘徊者への声かけ模擬訓練の全市での開催ーを求めました。

これに対し、市は①認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポート」の養成を進める②高齢者見守り事業の協力事業者についてはスーパーマーケットや金融機関、宅配業者に加え、公共交通機関などにも登録を呼びかける③「SOSメール事業」では認知症

私は**①市政ニユース**などの市の媒体で、**民生委員・児童委員の活動内容の周知を図るべき②民生委員・児童委員と学校との連携の強化が必要③地域のさまざまな団体がなり手探しに協力する環境づくりを整えるべき④民生委員・児童委員が行う証明事務の簡略化などについて県を通じて国に要望すべき」と訴えました。**

これに対し、市は「欠員が増えると、地域での相談支援体制や福祉サービスの情報提供、証明事務などについて支障が生じ、地域を見守る目も弱まる。他の民生委員への負担も増え、なり手を探すことがあります困難になるため、早期に解消する必要がある」と強調し、私が指摘した課題に前向きに取り組む姿勢を示しました。